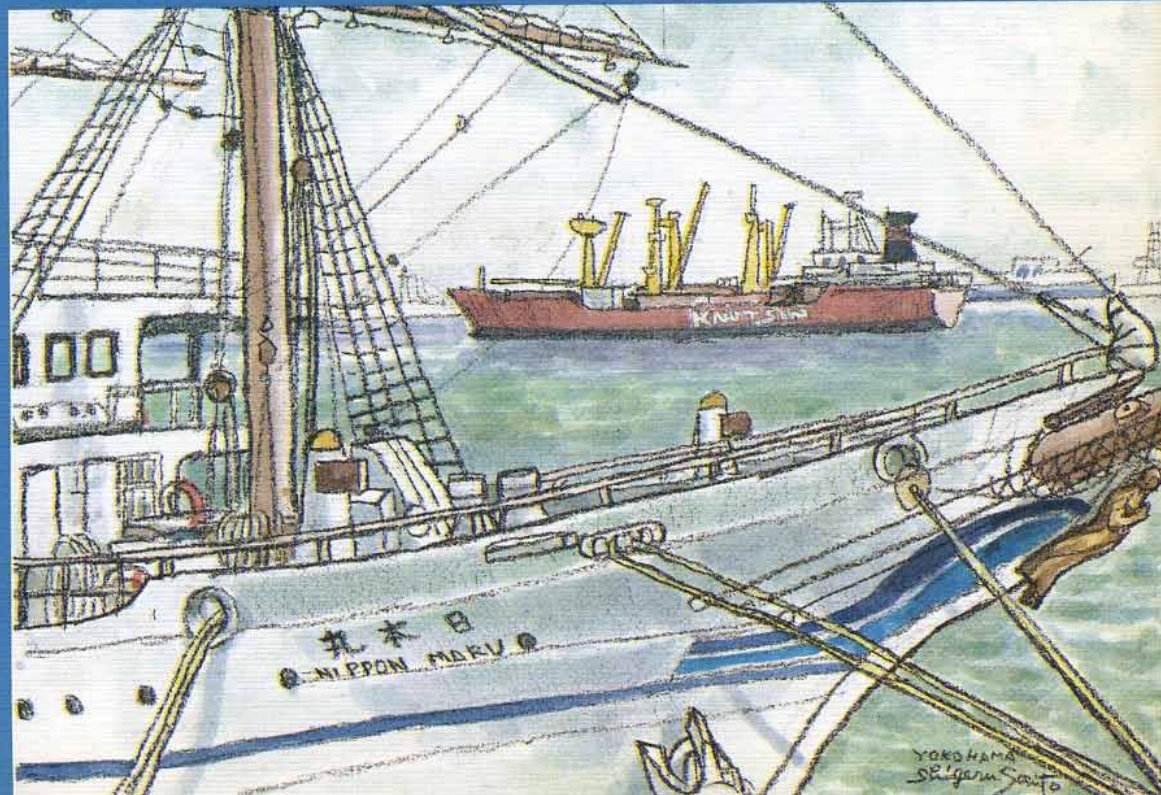


まがりの詩あしたの詩



日本作詩家協会年刊詩謡集

1985年版

詩人の詩と詩人の詩

日本作詩家協会年刊詩謡集

1985年版

序 文

会長 西沢 爽

最近、欧米で俳句ブームが起きていると新聞で知った。何かうれしいニュースである。然し、たとえば「ほのぼの」とか、「さめざめ」とか、「はかなし」なんてどう英語で表現できるか心もとない。

ところで、またあちらの話だが、あちらの唄も次第に短くなりつつあるという。

歌謡の魅力は凝縮された言葉の爆発力にある。だからだと、とりとめもない歌詞は、それだけ言語表現の貧困をまるだしにしているのに、制作するレコード会社に見識なく、長く唄うもそれが流行か、などと調子を合せているのが現状。お互いにもっと言葉を磨こう。一言千鈞の重みのある表現を心がけよう。

この詩華集はお互の自己満足のためのものではなく、明日へのそれぞれの反省と発憤を期して、彫んだモニュメントであってほしいと思う。この道に終りはない。

来年の皆さんの成果を刮目している。

もくじ

〔氏名 五十音順〕

序	文	西	爽	一
母そしてふる里	愛	行子	三	三
火の国未練	愛川	あい	三	三
港恋吹雪	青木	三郎	三	三
ほおずき提灯	青山	純	三	三
冬	春	赤城	芙士夫	三
渡し場物語	あき	たかし	三	五
あな	た	ひろし	三	六
一枚の葉書	秋篠	さと	三	七
おんなの海	秋田	泰治	三	六
男の胸中	秋本	昭	三	元
老いらく音頭	秋本	敦	三	三
女の河	麻	こよみ	三	三
演歌で聞くよな夫婦花	浅野	哲秋	三	三
人生算盤	浅沼	久美子	三	三
港暮色	飛鳥井	芳朗	三	三
甘い仕草で	天野	哲弘	三	三
あんちくしょうとこんちくしょう	鮎川	公正	三	六
新宿かえり花	新井	三七二	三	七

日陰花……………	荒川	利夫……………	三
忘れて下さい……………	荒木	忠雄……………	三九
小夜子情話……………	荒木	真……………	四〇
赤ちようちん……………	荒木	良治……………	四一
炭焼煙歌……………	有田	花外……………	四二
冥途の出囃子……………	淡路	しのぶ……………	四三
函館おんな町……………	安東	日出男……………	四四
風の村……………	飯塚	義美……………	四五
娘舟唄……………	池上	信……………	四六
恩……………	池口	恵観……………	四七
裏町情歌……………	池田	充男……………	四八
冬の奥能登ひとり旅……………	石川	孝志……………	四九
祖谷の里唄……………	石川	泰久……………	五〇
ところてん……………	石井	まこと……………	五一
親子船……………	石黒	忠……………	五二
やり直すなら今のうち……………	石本	美由起……………	五三
おやじ殿……………	五十川	式部……………	五四
北慕情……………	井田	誠一……………	五五
男心をみやげにもって……………	いたくらひろゆき……………	奕……………	五五
靖国悲歌……………	板倉	文子……………	五七
演歌ひとすじ出世船……………	伊丹	将人……………	五八
夢千両……………	伊藤	一生……………	五九
ささえ……………	伊藤	悟……………	六〇
天意の華……………	泉	淳三……………	六一

男はでっかい船になれ……………	息吹	詩郎……………	三
置　手　紙……………	伊野上	のぼる……………	三
雨の夜の口笛……………	伊予	圭相……………	三
涙の出るうちや幸せなんだ……………	岩井	圀男……………	三
わたしのハートはなみだいろ……………	岩瀬	ひろし……………	三
しぐれ浅草裏町で……………	岩田	小筆……………	三
いわし雲……………	岩田	道之輔……………	三
かもめ宿……………	植田	竹雄……………	三
恋愛遊戯……………	上田	有策……………	三
祖国の富士……………	上野	たけし……………	三
ぬけがら……………	牛若	創太郎……………	三
土曜日の午後……………	詩	和峯……………	三
古　戦　場……………	内田	善士……………	三
名残り雪……………	梅森	祐治……………	三
津軽夕やけ……………	宇山	清太郎……………	三
思い出レンゲ草……………	浦田	常治……………	三
誘われてヨコハマ……………	江島	景子……………	三
ふたりでくらそう……………	海老澤	孝一……………	三
慶　州　旅　情……………	大倉	芳郎……………	三
溺　　愛……………	大坂	秀次郎……………	三
女の漁火……………	大澤	陽央……………	三
未練酒場……………	太田	寿耕……………	三
恋のモザイク……………	大沼	里栄……………	三
北の暮らしになれたかい……………	大橋	哲郎……………	三

愛 追 い 橋	大 前	裕 子	六
月 の 晩	大 溝	玲 子	七
カチューシャみたいな女	大 森	富 士 子	八
黒潮かつお船	大 屋 敷	正 見	九
貧女の 一灯	岡 本	祐 加 子	一〇
奥州よされ節	小 川	淳	一一
酒 無 情	小 川	比 富 美	一二
トントン拍子音頭	荻 原	秀 夫	一三
雨の湖畔で	長 内	治 雄	一四
秋 風 街 道	お だ	み さ を	一五
鬼 火	小 高	つ た 子	一六
東京世去れ節	お ち	と し こ	一七
男 の 時 代	小 野	津 加 佐	一八
れんげそう	表	八 千 代	一九
ぼくねんじん	折 井	一 光	二〇
さだめ 雪	折 戸	勝 史	二一
たったひとりではないちもんめ	甲 斐	新	二二
おんな北酒場	加 藤	完 二	二三
あんな た・命	加 藤	テ ル	二四
ドアーはノックされた	叶	命 恵	二五
ふるさと シュポポ	鎌 田	勝	二六
白 い 灯 台	神 作	光 志	二七
ひとり暮し	河 井	哲 治	二八
湯 沢 悲 恋	川 口	武 男	二九

長崎 ロマン	川西	美智子	二〇
列島旅がらす	河野	充伸	二一
招待 状	菊地	英夫	二二
守ってゆきますひとりでも	北井	あゆ	二三
オンザロックの夢	岐多川	純	二四
名残り 雪	木立	雄幸	二五
心づも り	木谷	鴻治	二六
恋 衣	北村	直之	二七
新宿夜ばなし	北原	いずみ	二八
ニライ・カナイ	木原	悦子	二九
恋 まくら	木村	賢司	三〇
あの女はいま	国井	ただし	三一
寒 牡 丹	くぼた	ぼく	三三
カモメの涙	熊	たけし	三三
情の人生	倉島	雅之	三四
おまえにだつて唄えるさ	倉持	あきを	三五
新 婚 さ ん	栗沢	涼	三六
女の暖流	栗田	治夫	三七
女の慕情	黒川	良人	三八
大っかく廻ろう人生は	黒田	和世	三九
あゝこの瞬間	小出	アキ	四〇
漁り火怨歌	小島	高志	四一
愛はなくても情がある	小林	佳恵子	四三
さすらい女の流れ唄	こばやし	克至	四三

さようなら……………	小林	金次郎……………	一四〇
おかしな話……………	小林	すみ江……………	一三五
女の 新宿……………	こばやし	すみこ……………	一三六
帰りたい故郷へ……………	小林	たけし……………	一三七
新宿 Y 字路……………	五分木	敦美……………	一三六
ひとにぎりの春……………	近藤	しげる……………	一三九
冬の子守唄……………	斉藤	卓……………	一四〇
優子と花菖蒲……………	斉藤	政美……………	一四一
北 便 り……………	坂内	一夫……………	一四三
人生ふたりづれ……………	さかき	じゅん……………	一四三
コタンの花……………	さきゆう	かつみ……………	一四四
折 花 姫……………	佐久間	常夫……………	一四五
鶴見ブルース……………	桜本	繁……………	一四六
色丹波止場……………	佐々木	安 伸……………	一四七
長距離電話……………	佐 治	友季子……………	一四八
冬枯れの公園にて……………	佐藤	進……………	一四九
土に生れて……………	佐東	たどる……………	一五〇
残侠流転こぼれ唄……………	佐藤	英明……………	一五二
哀 しい 夜……………	佐藤	英俊……………	一五三
別 れ 愛……………	佐藤	正美……………	一五三
雪 の 華……………	里村	龍 一……………	一五四
北の街へと……………	小夜	麗香……………	一五五
海 峡 津 軽……………	三丁目	高詩……………	一五五
よさこい別れ唄……………	志賀	大介……………	一五七

別れ話	法蓮寺の坂	恋地獄	雪口説	別れ宿	冬の宿	ばらの入墨	こおろぎ橋	夕日と北国	あゝ鳳仙花	遠い灯り	飛驒の宿	慕情船	千姫慕情	夫婦舞	俺とネオン	望郷雨	花咲かもめ	風雪三味線	別れても終わらない	都橋恋歌	ピーポツポーと帰って来	夫婦独楽	街角
.....
鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	菅原	菅野	菅	新保	白水	白鳥	白川	白井	庄坪	周東	秀生	下野	鳴木	鳴	志摩	芝山	柴田	柴田	紫野
れい子	貢	昭一	孝	きよ	良平	多加代	麻貴子	治平	かおる	園枝	鮎太	克治	正雄	敬二	明	登美子	重雄	淳平	勝也	和子	よしかず	恒男	ゆき
一八一	一八〇	一七九	一七八	一七七	一七六	一七五	一七四	一七三	一七二	一七一	一七〇	一六九	一六八	一六七	一六六	一六五	一六四	一六三	一六二	一六一	一六〇	一五九	一五八

おんな酒	須田	茂樹	一八三
雨の駅で天使に出逢う	眇田	榮一	一八三
女の願い	砂見	爽	一八四
誰かと誰かが	関沢	新一	一八五
哀愁のラストダンス	関沢	ただしげ	一八六
二死満塁	瀬戸	千秋	一八七
生命一つを	相馬	詩彦	一八八
おまえは藍の花	外松	たつお	一八九
涙	田口	もりを	一九〇
おっぱいのメルヘン	田口	ゆたか	一九一
真実の恋はまわり道	田近	由岐子	一九三
母さんの渋を抜いた甘い柿	田中	凡夫	一九三
長閑なお地藏さん	谷田	草路	一九四
むかしが欲しい	玉川	良一	一九五
樺太流れうた	玉木	一史	一九六
つくしんぼ	玉利	要	一九七
日本家族	田村	和男	一九八
男つて	田村	忠雄	一九九
二人のために夜がある	たかぎ	かずお	二〇〇
遊びだったのね	高木	洋子	二〇一
昨日までのやさしきで	高瀬	臣子	二〇二
みれん舟	高橋	正江	二〇三
東京便り	高橋	仁	二〇四
海は日記帖	高畑	和之	二〇五

東京岬	高畠	諄子	二〇六
紫陽花	鷹野	学	二〇七
蘭と云う女	高野	礼子	二〇八
北街雪しぐれ	高安	弘	二〇九
裏方さんで暮らします	多岐川	まさし	二一〇
季節よ 夢よ	たく	わん	二一一
雪ごころ	竹内	きよと	二一二
四万十川エレジー	竹村	勝留	二一三
恋 みれん	たなか	ゆきを	二一四
冬枯れの街	たにはら	伸	二一五
日舞ひとすじ	田畑	しげき	二一六
さいはて酒場	立川	かね	二一七
でんでん虫演歌	千葉	幸雄	二一八
流氷岬	塚谷	清一	二一九
人生唄心	筑紫	なも	二二〇
江差情歌	津久井	ひろし	二二二
港の子守唄	津田	辰臣	二二三
雨のひと宿	土屋	正敬	二二三
恋するカルメンのポレロ	対馬	慎一郎	二二四
四季の詩	鼓	りゆうじ	二二五
夕なぎ海峡	露木	俊明	二二六
涙とはもう他人	どい	あきら	二二七
伊良湖慕情	戸枝	ひろし	二二八
珊瑚樹に寄せて	徳永	みどり	二二九

なごり川	鳥羽	貞子	三〇
金沢の女	豊原	史丈	三一
花陽炎	鳥居	浩子	三三
恋の算数	中川	肇	三三
雪の街哀歌	中野	和光	三四
波止場のママさん	中野	惣太郎	三五
駅裏酒場	中山	邦雄	三六
わたしのいる場所	中山	大三郎	三七
新宿手鞠唄	中山	二夫	三八
MY・LAST・LOVE	中山	正好	三九
夢 双紙	中村	よしかず	四〇
俺の人生航路	南雲	啓如	四一
たいしたもんだよ皆様は	那須野	巖	四二
妻 よ	並木	ひでを	四三
雨にわかれて	なるかわ	ゆう	四四
アリランブルース	成瀬	左千夫	四五
おやしきさん	仁井谷	俊也	四六
男の素顔	西	順子	四七
せせらぎの宿	にしき	昇	四八
ブルーの船旅	仁礼	美智雄	四九
夏の終りに	貫井	昭五	五〇
木曾路の宿	沼川	淳	五一
港	根本	昌幸	五二
蟬時雨背中に	のたき	ひであき	五三

いじめないで……………	能勢	英男……………	二五〇
ばかたれさんよ・ふる里さん……………	のま	たくま……………	二五五
幸せ芝居……………	能丸	武……………	二五八
夫婦鳥……………	萩原	百合子……………	二五七
他人川……………	橋間	哲也……………	二五八
炎の舞……………	長谷川	洋……………	二五九
愛に生きる……………	はぜやま	清美……………	二六〇
ベンゲットの他あやん……………	畑	よしかず……………	二六一
瀬野川老人ホームの歌……………	英	玲二……………	二六二
あなたがドアを閉めてから……………	羽村	真人……………	二六三
舞子……………	原	文彦……………	二六四
思い出の海……………	林	徹……………	二六五
浮草……………	はやし	しげる……………	二六六
揚子江回想……………	伴在	主計……………	二六七
なさけ船……………	坂東	昇……………	二六八
恋案山子……………	樋口	愨雄……………	二六九
ふたりのブルース……………	平井	健一……………	二七〇
なみだの花……………	平野	ひろし……………	二七一
オリオン……………	平吹	キリ……………	二七二
奥入瀬川哀歌……………	平山	忠夫……………	二七三
電話を下さい……………	傳	祖恭……………	二七四
置いてゆきます恋ひとつ……………	ふくだ	みのる……………	二七五
怒りんぼう……………	藤枝	省一……………	二七六
恋模様・藤娘……………	藤田	鶴之丞……………	二七七

白根山絶唱	藤間	哲郎	二七六
壺ふりお仙	文月	豊	二七九
いのちひとすじ	古野	哲也	二八〇
二人でマニラ	ぼく	はじめ	二八一
海鳥酒場の流れ唄	星	秀和	二八二
あに・いもうと	星合	節子	二八三
笠地蔵	星野	哲郎	二八四
春の雪	細川	富美子	二八五
だから惚れたのよ	本間	繁義	二八六
ああ、ふるさと	前田	利茂	二八七
峠の風車	牧	房雄	二八八
酒場の小猫	万城	たかし	二八九
磯笛哀歌	牧野	おさみ	二九〇
花言葉	増山	一郎	二九一
わるいひと	松井	由利夫	二九二
冬牡丹	松尾	ゆきを	二九三
男の拳	松崎	暎子	二九四
私は恋のくノ一忍者	松代	達生	二九五
女の絶唱	松平	史紀	二九六
昭和全地婦連の詩	松永	夏女	二九七
剣岳賛歌	松本	敦央	二九八
悲恋船	松本	攝子	二九九
啄木の青春	真弓田	幸一	三〇〇
北上川恋唄	三浦	康照	三〇一

冬	の	海	三尾	孝祐	三〇二			
望	郷	岬	三上	博司	三〇三			
ぼく・も	少し	生きたい	美貴	ひろこ	三〇四			
根	室	の	女	三島	迪之助	三〇五		
親父の	げんこつ	みずの	御園	稔	三〇六		
酔	いたい	女	御園	和政	三〇七			
隅	田	川	の	女	三谷	勉	三〇八	
武蔵野	より	愛を	こめて	道山	直樹	三〇九		
夢	は	し	ご	水鷲	乗	三一〇		
妻	恋	唄	水木	れいじ	三一			
母の	流し	雛	水野	甚太郎	三一二			
永	遠	あ	そ	び	碧川	裕子	三一三	
平	和	へ	の	出	発	ち	三一四		
再	来	の	み	ず	う	み	三一五		
お	く	と	ね	旅	情	峰	よしを	三一六
炎	みやげ	知絵	三一七		
裏	町	の	耐	太	郎	三宅	立美	三一八
盆	花	火	みやざき	あきら	三一九			
鎮	魂	歌	・	六	本	木	三二〇		
ネ	オン	わ	ら	べ	坂	宮原	哲夫	三二一
ゲ	ート	ボ	ール	の	歌	村岡	兆則	三二三
あ	じ	さい	慕	情	村上	文恵	三二三	
寒	椿	室山	多香史	三二四		
ロー	マ	の	夜	百瀬	淑子	三二五		

なだれ雪……………	杜	としを……………	三六
おんなの運命……………	森山	史郎……………	三七
通り雨……………	諸我	聰一……………	三八
雨の柳町……………	八木	吾郎……………	三九
恋 峠……………	やま	一 央……………	三〇
能登路恋しや……………	山上	雅人……………	三一
雨が降ったら……………	山上	路夫……………	三二
恋 月草 紙……………	山北	由希夫……………	三三
駒子のうた……………	山口	純……………	三四
ずっこけ女番長ロックンロール……………	山崎	公 聖……………	三五
ミズリー・バックホテル……………	山下	晋……………	三六
ふたりの門出……………	山田	晃 義……………	三七
もどり旅……………	山田	孝 雄……………	三八
盛り場川……………	山田	世津夫……………	三九
慟哭の青春……………	山田	博 士……………	四〇
関 の 夜……………	山田	博 康……………	四一
恋 地 獄……………	矢真田	真沙恵……………	四二
泣かせ上手に泣き上手……………	やまだ	りゆう……………	四三
夕 映 え 峠……………	大和	千 泉……………	四四
わるい男……………	山中	ま り……………	四五
恋の乱れ雪……………	山本	恵三子……………	四六
うみつばめ……………	湯 浅	としあき……………	四七
鯛の琴平詣り……………	夢	虹 二……………	四八
いちごくん・いちごさん……………	友 里	裕 介……………	四九

花	氷	横井	弘	三五〇
夜行列車の女	横山	光夫	三五二
禁じられた恋	吉秋	雅規	三五三
想い出恋港	吉川	徳子	三五三
俺がついている	吉田	孝平	三五四
パークサイドマンション	若林	澄人	三五五
女囚子守唄	渡辺	治	三五六
雪風紋	渡辺	和於	三五七
流水海峡	渡辺	千楨	三五八
あとがき	牧	房雄	三六一

題字 西沢 爽

表紙画 一陽会会友

斎藤 茂

(横浜港風景)